



## 住民合意なき特定整備路線

# 道路建設・拡幅計画は中止に



志茂地域の86号線計画地を歩いて調査する池内さおり衆院議員(中央)と、そねはじめ都議(左)、のの山けん区議(左から2人目)ら

## 池内さおり衆議院議員 補助86・73号線を調査

昨年の総選挙で当選を果たした日本共産党の池内さおり衆議院議員は16日、北区内で計画されている4カ所の特定整備路線のうち、補助86号線(志茂地域と赤羽西地域)と十条の73号線の3カ所を現地調査しました。

志茂86号線の計画

その中で、東京都が根拠にしている1946年の都市計画決定には、憲法違反も指摘される重大な法的不備があると、ともに、永久保存が必要とされる当時の図面も存在していない事実が明らかになり、「この問題はずいぶん追及してほしい」との訴えがありました。

1946年の都市計画決定には、憲法違反も指摘される重大な法的不備があると、ともに、永久保存が必要とされる当時の図面も存在していない事実が明らかになり、「この問題はずいぶん追及してほしい」との訴えがありました。

赤西86号線の計画地では、江戸時代の貴重な史跡、稲付城跡の下をトンネルでくりぬこうという無謀な計画に反対の声をあげている静勝寺の高崎忠道住職と懇談。さらに、自然破壊につながる赤羽自然観察公園、赤羽スポーツの森公園内の道路計画地についても、公園の利用者ら



から話を聞きました。視察を終えた池内議員は「大変な問題。しっかり勉強して取り組んでいきたい」と感想をのべました。



静勝寺の高崎住職(右)から話を聞く池内衆院議員ら

# 土砂災害への万全な備えを

## 防災対策特別委員会が区内の崖地を視察



十条仲原4丁目の清水坂公園内にある崖地を調査する防災対策特別委員会のメンバーら。



急傾斜地崩壊危険区域として対策がとられた赤羽西2丁目の崖地。140mにわたって工事がおこなわれています。

15日、区議会防災対策特別委員会（野々山研委員長）は、区内の崖地について現地視察をおこないました。昨年は広島で大規模な土砂災害が起き、傾斜地の多い北区でも、万全な防災対策が求められます。

午前9時30分に北区役所をバスで出発、野々山委員長が「阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から間もなく4年を迎えます。2つの大震災の教訓をふまえ、北区での防災対策にしっかりと取り組んでゆきましょう」とあいさつしました。

最初の視察地は清水坂公園。十条仲原の高台に建つ住居の下には、急傾斜の崖地がそり立っています。小雨の降る中、委員会のメンバーらは崖の手前まで近づいて建築課長の説明を聞きました。

1991年から92年にかけて対策工事がおこなわれた赤羽西2丁目20番、25番の崖地に移動。総事業費約1億4625万円をかけて施された、高さ約13m、長さ約140mのコンクリート法面を視察しました。

来年度には、東京都が土砂災害の警戒区域を指定することとなっており、いっそうの対策が必要となります。

## わいわいがやがや 北区政を語る

18日、東十条ふれあい館で、第2回「わいわいがやがや北区政ってなに？」（主催・北区政を考える区民の会）が開かれました。今回は、区内4カ所で計画され、住民不在のまま進められている特定整備路線（表面参照）の問題が議論の中心に。まちづくりは住民参加が大原則と確認しあいました。（のの山けん）

